

イデアルファーク株式会社

事業名

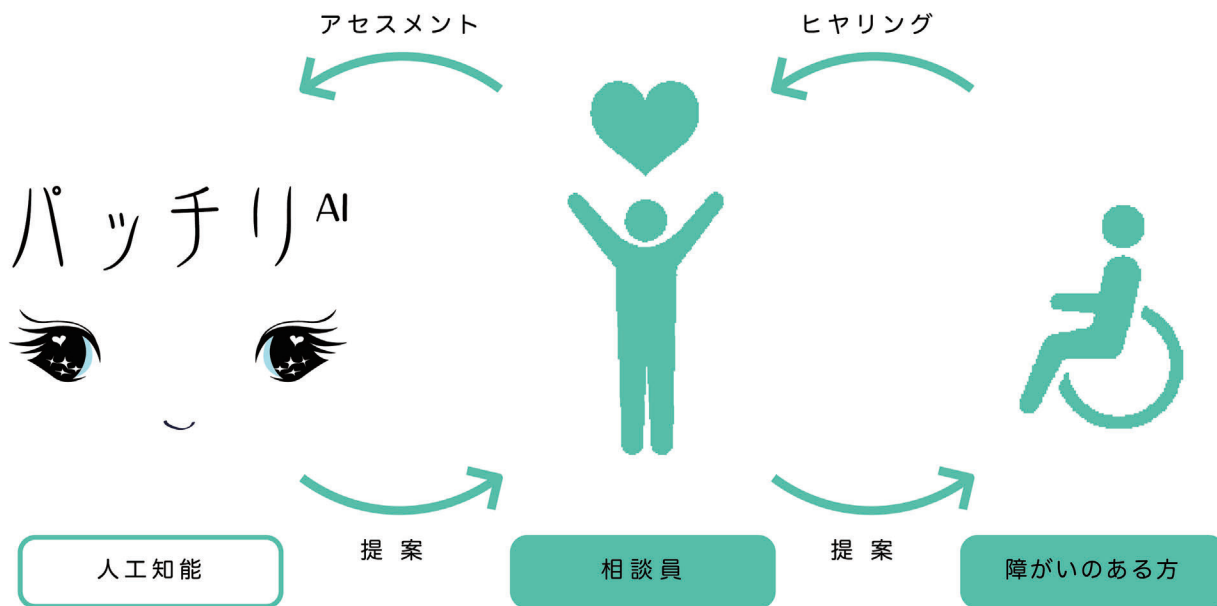
世界初 IBMのAIを活用した、障がいのある方の
自立支援計画策定サービスの開発

対象類型

革新的サービス

事業類型

一般型／設備投資のみ



AIを活用したクラウド型サポートソフト「パッチリ AI」フロー図

事業の背景・目的

30年前、どの様な人でも暮らしやすいまちづくりを目的にボランティアを展開。以降、NPO法や介護保険法、障がい者総合支援法など、国の制度の変化に伴い活動を広げ、2019年3月にイデアルファーク株式会社の設立に至った。超高齢社会の課題は挙げたらキリがなく、障がい者と高齢者は増加する一方である。中でも相談支援専門員(以下、相談員と称する)の不足は大きな課題で、相談支援事業所は介護保険の4分の1程度。一般高齢者に比べ、支援計画の作成には多くの時間を取られ、きめ細かい知識が必要となり、経験が少ないと対応は困難。やはりテクノロジーの力が重要と考え、IBM Watsonを活用し「クラウド型 AIパッチリ」支援計画サポートソフトの独自開発を計画した。

事業内容

AIを活用し質の高い相談員のノウハウが見える化し、経験の少ない相談員が障がい者支援計画を策定するサポートソフトを開発する。

導入機械はWatson搭載型自立支援ソフトウェア一式。AI(Watson)にこれまでの事例を教師データとして入力し、学習させる。具体的には、①アセスメントシート内に記述された項目から解決すべき課題を抜き出す。②課題のテキストから、その課題に対する支援目標の候補を取得する。③Watsonの自然言語分類機能の学習データを管理する。④経験値の高いケアマネジャーの知見を使って、課題から支援目標を問い合わせる⑤なるべく手をかけずにプランシートを用意できるようにする。⑥今後の機能拡張にそなえる。

業務内容

- イデアルファーク株式会社: 未来創造館/新未来創造館/
未来食堂/福祉用品事業所/ケアステーションあらた/
サポートセンターあらた/訪問看護ステーションあらた/
ヘルパーステーションあらた/デイサービスあらた/あらた
介護福祉士実務者養成学校/新規事業開発部/有料老
人ホームあらた
- NPO法人あらた: グループホームあらた・ひより/障がい者
サポートセンターあらた/たぐせい寮

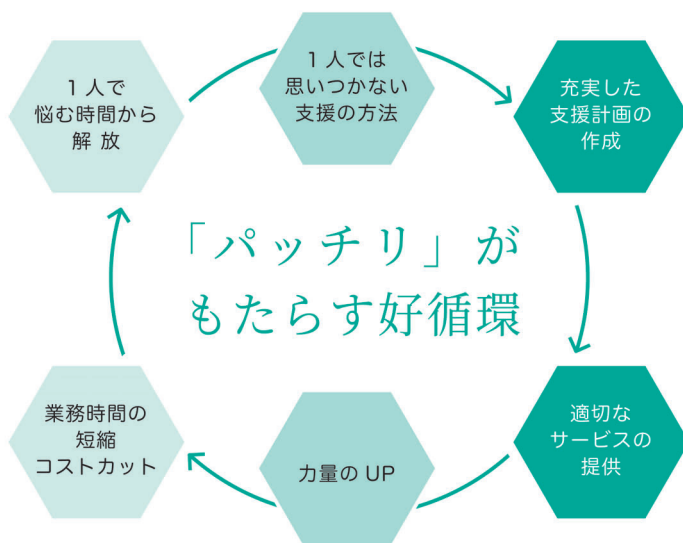


代表取締役社長 齋藤 和哉

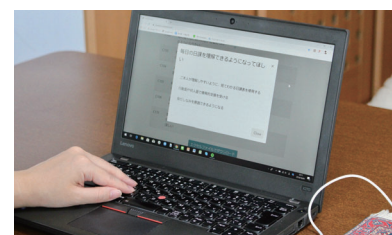
代表者: 齋藤 和哉
設立年: 平成17年
資本金: 2,800万円
従業員: 54名

住所: 山形県酒田市東町1-15-25
電話: 0234-26-0488 FAX: 0234-25-8385
URL: <https://pacchiri.com/>
e-mail: info@mirai-souzoukan.com

障がいのある方の自立支援計画策定サービスの開発 相談員の負担を軽減、障がい者の自立と夢を支援するサービス



「パッチリ AI」好循環図



パッチリを使用することで初回支援計画の作成時間が大幅短縮

事業の成果

経験の少ない相談員でも障がい者の思いや夢に沿ったプランを提供できるようWatson搭載型自立支援ソフトウェアを開発し、新たに開発したアセスメント情報入力することによりAIから課題とプランを提案できるソフトができた。過去のプランデータをAIに学習させたため、アセスメントを入力することで、これまでプラン作成に数日から8時間要していたものが、20分から1時間程度でプランを作成することができた。また、自立支援プランニングソフトの使用により、相談員が対応したことのない事例であっても、障がい者の自立を支援できるプランの提案が可能になった。

障がい者の自立支援に適応した計画を作成することを目的とし、開発段階での目的は達成した。

今後の展望

AIを活用した自立支援プランニングソフトは「パッチリ」の名称でクラウド型ソフトサービスとして、令和2年2月を目処に製品化してサービスを開始する。それに先立ち、今年12月に東京ビックサイトで開催される「中小企業 新ものづくり・新サービス展」に出展する。今後もパッチリの品質の向上を行なっていくことと、これから労働人口が減っていく中で、ソフトの活用により効率化していくことで、これまでプランに要していた時間をより利用者向き合い、理解する方に活用してほしい。また、このソフトはこれからの人材の教育にも役立てていきたい。社名のイデアルファークは、イデアルが「理想」でファークが「灯台」の意味。パッチリを土台に、今後、未来を明るく照らすという理念で社会に貢献していく。